

**【8/28(水)開催 無料セミナー】**  
**大人気ゲームを多数リリースするソーシャルゲーム事業者の**  
**インフラの現場を徹底公開**  
**～現場担当者が明かす膨大なアクセスをさばく極意とは～**

株式会社リンク(本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田元治)と株式会社エーティーワークス(本社：富山県富山市、代表取締役社長：伊東孝悦)が共同で展開している国内最大級のホスティングサービス「at+link (エーティーリンク)」は、株式会社ポケラボおよびフュージョンアイオー株式会社を招き、ソーシャルアプリやゲーム開発事業者を中心とした企業のインフラ担当者向けに「大ヒットアプリのインフラ担当者が語る-コストもパフォーマンスも最適化するサーバサイジングの極意」と題したセミナーを、2013年8月28日(水)に東京・秋葉原で開催いたします。

## ■人気ゲームを次々とリリースする株式会社ポケラボの現場担当者が登壇

mixi・GREE・Mobage・Yahoo・Facebook といったソーシャルサービス上で提供されるアプリやiPhone / Android アプリなど、いわゆるソーシャルアプリへの注目が高まってから数年が経ち、今では日本発のアプリが世界中で大ヒットするなど、その勢いは留まることなく次々と新しいアプリやゲームが生み出されています。

本セミナーでは、そのような中で大ヒットアプリを提供し続けるSAP事業者の現場担当者に登壇してもらい、いまだのような技術に注目し取捨選択しながら膨大なアクセス数を誇るアプリ運用を維持しているのか、さらに開発現場における悩みや問題、技術者の理想までを余すことなくお話しいただきます。

その講師として、今回はソーシャルゲームの企画・開発・運営をおこなう株式会社ポケラボのサービス基盤事業部エンジニアである金本純一氏が登壇します。「目指せ最小構成-ホスティング会社を困らせる！」と題し、サーバ運用におけるサイジングの最適化についてお話しいただきます。アプリは開発中だけでなく、リリース後も絶え間ないPDCAサイクルが続くため、インフラも設計するだけでは終わりません。アプリがヒットしても単純にサーバの台数を増やして対応するのではなく、常に変わり続ける環境に対してボトルネックの特定や工数マネジメントをしながら、そのアプリにとっての最適な構成へとサイジングしていきます。そのような現場担当者だから語れる問題解決の極意などを、本セミナーを通し参加者の方々と共有していきます。

その後に開催するトークセッションでは「ioDriveは甘え？アプリ運用に最適なサイジングとは」と題し、金本氏に加えフュージョンアイオー株式会社 ソリューションアーキテクトの長谷川氏を迎え、さらに当サービス at+link 技術開発部の前佛雅人を加えて、サーバ運用の現場にある課題

を「ベンダー」「ホスティング事業者」「SAP事業者」のそれぞれの立場でトークセッションを行います。また、日常的なサーバ運用上の課題やサイジングについての悩みなど、参加者から事前に質問を募ってディスカッションする予定です。

セミナーの中盤では、at+link 技術開発部 山岸隆広より「at+link アプリプラットフォーム」のサービス説明を行います。「at+link アプリプラットフォーム」は、at+link が、2010年11月から提供を開始している高トラフィック・高負荷サイトの運用に最適な専用サーバパッケージです。複数の Web サーバと ioDrive を搭載した DB サーバ、大容量回線やネットワーク機器のほか、アプリの運用に必要なさまざまな機能をパッケージにして初期費用無償で提供する点を特長とし、数多くのアプリ事業者に導入されています。

at+link は今後も、サービス説明のためのセミナーだけではなく、現場の担当者や技術者が日々の運用に役立つ知識などを得られ、交流できる場を提供していく予定です。

#### 【登壇者プロフィール】

- ◆株式会社ポケラボ サービス基盤事業部エンジニア 金本 純一（かねもと じゅんいち）氏  
コールセンターのスタッフからマネージャー、その後なんとなく旅へ。その間製紙工程管理者やとび職等寄り道しながら関東へ。その後また寄り道しながらSAP業界へ。
- ◆フュージョンアイオー株式会社 ソリューションアーキテクト 長谷川 猛（はせがわ たけし）氏  
独立系SIにて7年間のシステム構築&提案を経験したのち、2011年6月よりフュージョンアイオー株式会社のソリューションアーキテクトとしてフラッシュメモリを活用したアプリケーション高速化を推進中。また、フラッシュ時代ならではのコンピュータの在り方を模索している。
- ◆株式会社リンク at+link 事業部技術開発部 前佛 雅人（ぜんぶつ まさひと）  
株式会社リンク at+link 事業部技術開発部所属。ホスティングサービスのお客さまサポートや監視対応がメイン。業務の傍ら、オープンソース関連活動も手がける。最近はリソース監視ツールMuninのドキュメント翻訳に勤しむ日々。
- ◆株式会社リンク at+link 事業部技術開発部 山岸 隆広（やまざし たかひろ）  
株式会社リンク at+link 事業部技術開発部所属。ホスティングサービスのお客さまサポート、インフラのお世話。新しい技術（ハードウェア、ソフトウェアに関わらず）の検証も主な担当で、最近は ネットワーク 関連を勉強中。

#### 【セミナー概要】

- セミナー名称 大ヒットアプリのインフラ担当者が語る  
コストもパフォーマンスも最適化するサーバサイジングの極意！
- 開催日時 2013年8月28日(水)17:00(16:30開場)～19:30(閉会)  
ユードイーエックス・ギャラリーネクスト(東京都千代田区外神田4-14-1)  
<http://udx.jp/next/access.html>

- 対象者
- ・ ソーシャルゲーム開発企業、ウェブサービス開発会社のインフラ担当者・開発担当者
  - ・ 同時アクセスの多いWeb アプリケーションを運用している企業のインフラ担当者
  - ・ その他、インフラ構築経験者、開発経験者、リーダー・管理者

- 定員 100名

■ タイムスケジュール

16:30-	開場・受付開始
17:00-18:00	「目指せ最小構成 サーバ事業者を困らせろ！」 株式会社ポケラボ サービス基盤事業部エンジニア 金本 純一氏
18:00-18:10	休憩
18:10-18:30	「サーバ運用台数が半分になるかも！？ at+link アプリ プラットフォーム」 株式会社リンク at+link 事業部技術開発部 山岸 隆広
18:30-18:40	休憩
18:40-19:30	トークセッション 「ioDriveは甘え？アプリ運用に最適なサイジングとは」 株式会社ポケラボ サービス基盤事業部エンジニア 金本 純一氏 フュージョンアイオー株式会社 ソリューションアーキテクト 長谷川 猛氏 株式会社リンク at+link 事業部技術開発部 前佛 雅人

- お申し込み方法 以下のフォームよりお申し込みを受け付けます。

<http://www.at-link.ad.jp/seminar0828/>

### at+link について

東京の広告制作会社である株式会社リンクと、富山の PC/AT 互換機メーカーである株式会社エーティーワークスにより、1996 年 11 月にサービスを開始しました。2013 年 8 月現在の稼働台数はのべ 20,000 台にのぼり、専用型レンタルサーバの分野では国内最大級といわれています。ユーザは大企業・官公庁から中小企業・SOHO など、およそ 2,500 社。利用形態も、企業のメールサーバ・ウェブサーバからオンラインショップやモバイルビジネスまで多岐におよびます。自在性・拡張性に富んだサービス構成と、親切・丁寧な完全無償フルサポートを提供しており、多くのユーザから支持を得ています。サービスの詳細は、<http://www.at-link.ad.jp/>をご覧ください。

### 株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼働台数を持つ専用ホスティングを軸として、クラウド型ホスティング・コロケーション・クラウド型テレフォニーサービスなど、さまざまなインターネット関連サービスを提供しています。2009 年からは農系事業にも取り組んでおり、2010 年 2 月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「中洞牧場」および同牧場の直営店を運営しています。事業内容の詳細は、<http://www.link.co.jp/> をご覧ください。

### 株式会社エーティーワークスについて

株式会社エーティーワークスは、at+link のマシンの製造と技術サポートを担当しています。1994 年の創業当時から PC/AT 互換機に PC-UNIX (Linux・FreeBSD など) をプリインストールしたサーバ機器の販売、ラックマウントサーバの開発・製造・販売を行っています。事業内容の詳細は、<http://www.atworks.co.jp/> をご覧ください。

### **本プレスリリースに関するお問い合わせ先**

**株式会社リンク**  
**担当：原田**

〒107-0052  
東京都港区赤坂 7 丁目 3 番 37 号  
カナダ大使館ビル 1 階  
TEL: 03-5785-2255 / FAX: 03-5785-2277  
E メール: [pr@link.co.jp](mailto:pr@link.co.jp)